



Press Release

令和5年4月27日  
タレンツ・トーキョー実行委員会

世界の映画界で活躍するアジア映画人を多数輩出  
映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2023」開催のお知らせ及び参加者募集

タレンツ・トーキョー実行委員会は、映像分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能(=Talents、タレンツ)」を育成することを目的とした「タレンツ・トーキョー」を、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京との共催で2010年から毎秋に実施しています。

アジアの若手映画作家やプロデューサーを東京に招き、「ベルリン国際映画祭」関係者等の第一線で活躍するプロフェッショナルからの講義や、映画関係者に向けてのプレゼンテーションなど、約1週間にわたるワークショップを通して、映画人として世界で活躍するためのノウハウとネットワーク構築を目指す人材育成事業です。

本事業は「ベルリン国際映画祭」の一環として開催されている「ベルリナーレ・タレンツ」の、海外展開における唯一のアジア版として2010年に東京で始まりました。これまでカンヌやベネチア等各地の国際映画祭で受賞するなど、世界を舞台に活躍するアジアの映画人を多数輩出しており、人材育成事業としての成果が世界各地で注目されています。昨年の第75回カンヌ国際映画祭にて「PLAN 75」でカメラ・ドール スペシャルメンション(特別賞)を受賞した早川千絵監督、先月発表された第46回日本アカデミー賞にて「ある男」で最優秀監督賞を獲得した石川慶監督らも本事業の修了生です。

このたび、今年度の開催概要及び参加者募集に関する詳細が決まりましたので、お知らせします。日本を含むアジアからの若手映画人からの応募をお待ちしています。

<開催概要>

名称 : タレンツ・トーキョー2023 (Talents Tokyo 2023)  
実施期間 : 令和5(2023)年11月20日(月)~11月25日(土)  
会場 : 有楽町朝日ホール ほか ※予定  
内容 : ・映画監督、プロデューサー等のプロフェッショナルによる講義  
・参考作品の鑑賞  
・企画合評会(映画化したい企画のプレゼンテーションと審査・表彰)  
・参加者同士や講師陣との交流  
主催 : 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会  
提携 : ベルリン国際映画祭(ベルリナーレ・タレンツ)  
協力 : ゲーテ・インスティトゥート

【応募について】

対象者 : 東アジア、東南アジア地域の映画監督・プロデューサーを目指す方  
募集人数 : 国内外あわせて17名程度 ※予定  
募集期間 : 2023年5月1日(月)から5月31日(水)まで  
選考期間 : 2023年6月から8月末まで  
提携 : ベルリン国際映画祭(ベルリナーレ・タレンツ)

5月1日(月)より公開、募集開始します。公式ウェブサイト <https://talents-tokyo.jp> をご覧ください。

<本事業、掲載に関するお問い合わせ>

タレンツ・トーキョー実行委員会広報事務局 担当: 林  
TEL: 03-6258-0333 E-mail: talents@talents-tokyo.jp

**【参考】タレンツ・トーキョー修了生の主な業績（カッコ内は参加年）**

・アンソニー・チェン（2010年）監督

『イロイロ めくもりの記憶』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール（最優秀新人監督賞）他多数受賞

・石川慶（2011年）監督

『愚行録』ベネチア国際映画祭オリゾンティ部門出品、『蜜蜂と遠雷』毎日映画コンクール作品賞他多数受賞、『ある男』日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、他多数受賞

・ピアンカ・バルブエナ（2012年）プロデューサー

『痛ましき謎への子守唄』（ラヴ・ディアス監督）ベルリン国際映画祭銀熊賞（アルフレッド・バウアー賞）

・ヨー・シュウホァ（2015年）監督

『幻土』ロカルノ国際映画祭金豹賞（最優秀作品賞）受賞、東京フィルメックス・コンペティション 部門出品、米アカデミー賞シンガポール代表

・早川千絵（2014年）監督、水野詠子（2019年）プロデューサー、アレンバーグ・アン（2014年）コ・プロデューサー

『PLAN 75』カンヌ国際映画祭カメラ・ドール スペシャルメンション（特別賞）受賞



Talents Tokyo 2022 実施風景